



三重県の麻疹アウトブレイク

今年の1月に三重県で大きな麻疹の集団発生(アウトブレイク)があったのは記憶に新しいと思いますが、このアウトブレイクでは県内で49人の患者さんがでました。多くの患者さんはこれまでに麻疹に罹ったことのないか、あるいはワクチンを一度も接種したことのない方たちでした。麻疹に対する免疫が全くないひとが感染すると、ウイルスは体内で大量に増殖して症状は強くなり、1,000人に1人くらいの割合で脳炎を起こすことがあり、1,000人に1~2人は命を落とします。実際フィリピンでは今年に入って現在までに8,400人以上の患者さんが発生し、136人の死亡が確認されています。また、1歳未満の乳児が麻疹に感染すると、100万人に5~10人くらいで、麻疹ウイルスが脳に持続感染をして、亜急性硬化性全脳炎(Subacute Sclerosing Panencephalitis; SSPE)という重篤な中枢神経合併症を起こすことがあります。これらの重症麻疹に対しての有効な治療方法はありませので、このようなことにならないようにするためには、麻疹ワクチンにて予防する以外に方法はありませ。世界中で麻疹ワクチンが推進されているのは、こういう理由のためです。

また、免疫がない患者さんからは、ウイルスも大量に排出されるので、この人たちと濃厚に接触すると、大量のウイルスをもらってしまうので、これまでにワクチンを接種したことがあるものの、1回しか接種していなかったり、2回接種しても抗体(免疫力)が徐々に下がってきた人たちにも感染することがあります。このように麻疹の免疫はあるものの、十分な抗体のないかたが罹ると、熱が高くならなかつたり、

発疹があまりでなかつたりと、症状が非定型でなかなか診断にたどり着かないことがあり、この間に他のヒトに感染させてしまうこともあります。

麻疹の特徴の一つに、その感染力が非常に強いと言うことがあります。直接的に患者さんに接触する(接触感染)以外にも、話したり咳をしたりして口や鼻から飛び出す細かい粒子(呼吸器飛沫)が飛び出し1~2メートル離れた人に感染させたり(飛沫感染)、麻疹患者さんと同じ部屋にいれば、遠く離れていても感染することはありますし、また麻疹の患者さんがいた部屋に、患者さんが出た2時間後に入って感染した例(空気感染)もあります。

麻疹は、自分自身の症状もさることながら、自分の周りにいる、自分の大切な人たちにも感染させてしまうと言う非常に残念な特徴を持ちます。そしてその方がまだワクチンを接種していない乳児だったりすると、大変なことになってしまう可能性もあるわけですから、麻疹を予防することは自分を守るとともに、自分の周りの親しい人や大切な人たちを守ることに繋がります。

ワクチンをこれまで接種したことが無い人、1回しか接種したことが無い人は、いろいろな機会に際して確実にワクチンを2回接種しましょう。3月から4月は年度替わりでもあり、新たな船出となることも多いので、良い機会かもしれません。麻疹の予防接種でも、風疹の予防接種でも、多くの場合には麻疹・風疹混合ワクチンが使用されますので、麻疹と風疹の免疫が同時に付きます。

(臨床研究部長 谷口 清州)

